

「1年修了プログラム申請にかかる実践研修等免除レポート」の作成について

審査について

1年修了プログラムは、本学入学後の実習科目「教職力向上基礎研修(3単位)」「教職力／探究力向上実践研修(2単位)」「課題探究力育成研修(5単位)」をレポートで審査(※)し、当該実習科目を免除(単位を認定)することで、通常修業年限が2年のところ、最短で1年で大学院の修了を目指すプログラムです。

申請に当たっては、前述の研修のそれぞれの目的に準じた内容のレポートを、後述の指示に従い指定様式で作成し、出願書類とともに提出してください。

※「愛知教育大学大学院教育学研究科専門職学位課程実習科目免除基準」に準じ審査します。

レポートの形式・項目等

レポートは、免除対象となる研修の目的に応じて、3つの項目に分かれています。

『1)「教職力向上基礎研修」履修免除にかかる項目』

『2)「教職力／探究力向上実践研修」履修免除にかかる項目』

『3)「課題探究力育成研修」履修免除にかかる項目』

それぞれの項目は、以下の留意点・記載例に従い、記述してください。

【各項目共通の留意点】

(1)タイトル(副題)を明記すること。

(2)Wordで作成し、各項目2ページ程度まで(全体で6ページ程度まで)で作成すること。

(フォントサイズは11ポイントとする)。

(3)項目、構成例は必要に応じて項目数や項目名を変更しても構わない。

【『1)「教職力向上基礎研修」履修免除にかかる項目』の留意点・記載例】

履修免除に相応する能力や実践力を、次のような観点から作成してください。

・現任校の課題把握、課題解決に向けた計画立案に関する考察

(内容例)

現任校の課題把握

課題解決に向けた計画

レポートの構成例

タイトル「〇〇〇〇」

1. 実践的研究の経緯

・免除に値する実践的研究を実施した際の自分の立場、実践の経緯、概要等。

2. 実践的研究の内容(例)

・現任校の課題把握

・課題解決に向けた計画

3. 考察

・2. を踏まえた実践的研究の成果、課題等。

参考文献

・自らの実践をまとめた報告論文等があれば、ここに書く。

・その他、文科省の資料、審議会答申、一般的な参考文献等があれば書く。

【『2』「教職力／探究力向上実践研修」履修免除にかかる項目』の留意点・記載例】

履修免除に相応する能力や実践力を、次のような観点から作成してください。

- ・校内研究や校内研修、現職教育の現状、実践内容と成果や課題に関する考察
(内容例)

校内研修、または校内研究の立案の仕方

校内研修、または校内研究の効果的な運営・実施の仕方

校内組織の支援体制づくり

レポートの構成例

タイトル「〇〇〇〇」

1. 実践的研究の経緯

- ・免除に値する実践を実施した際の自分の立場、実践の経緯、概要等。

例:

- ・〇〇小学校(又は中学校, 高等学校等)の研究主任(又は校内研究における中心的立場)として令和〇年度から令和〇年度まで(1年以上)従事した
- ・〇〇小学校(又は中学校, 高等学校等)において校内研修や現職教員の講師として2回以上従事した

2. 実践の内容(例)

- ・校内研修、または校内研究の立案の仕方
- ・校内研修、または校内研究の効果的な運営・実施の仕方
- ・校内組織の支援体制づくり

3. 考察

- ・2. を踏まえた実践の成果、課題等。

参考文献

- ・自らの実践をまとめた報告論文等があれば、ここに書く。
- ・その他、文科省の資料、審議会答申、一般的な参考文献等があれば書く。

【『3』「課題探究力育成研修」履修免除にかかる項目』の留意点・記載例】

履修免除に相応する能力や実践力を、次のような観点から作成してください。

- ・現任校の課題把握や課題解決のための計画立案、実践の内容と成果
(内容例)

現任校の課題把握

課題解決に向けた計画

課題解決に向けた実践の内容と成果

レポートの構成例

タイトル「〇〇〇〇」

1. 実践的研究の経緯

- ・免除に値する実践的研究を実施した際の自分の立場, 実践の経緯, 概要等。

2. 実践的研究の内容(例)

- ・現任校の課題把握
- ・課題解決に向けた計画
- ・課題解決に向けた実践の内容と成果

3. 考察

- ・2. を踏まえた実践的研究の成果, 課題等。

参考文献

- ・自らの実践をまとめた報告論文等があれば, ここに書く。
- ・その他, 文科省の資料, 審議会答申, 一般的な参考文献等があれば書く。